“Lynch Syndrome Day 2024”

第 10 回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会

合同学術集会・市民公開フォーラム　のご案内

拝啓

近年のがんゲノム医療の進展の中で、遺伝性腫瘍が診断される機会も年々増加しております。その流れの中で、遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）は 2020 年の遺伝学的検査等の一部保険承認もあり、実臨床が飛躍的に進みました。一方、頻度的にも重要な Lynch 症候群その他の遺伝性腫瘍については個々の原因遺伝子の遺伝学的検査はもとより、欧米では標準的な診断モダリティーとなっている多遺伝子パネル検査(Multigene Panel Testing:MGPT)の保険適応も無く、遺伝性腫瘍診療における大きな課題ともなっています。　そこで、今回、これらの課題についての発表・討論を通して Lynch 症候群などの遺伝性腫瘍診療の活性化を図るべく、Lynch 症候群に関する 2 つの国内研究会が連携して、“Lynch Syndrome Day 2024”と銘打っての合同学術集会・市民公開フォーラムを下記の如く開催する事となりました。

遺伝性腫瘍の診療・研究に携わる多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

2024 年 4 月吉日　　当番会長：　がん研有明病院　臨床遺伝医療部　金子景香
市立豊中病院　がん診療部（外科）　冨田尚裕

＝開催概要＝

■会　　名：“Lynch Syndrome Day 2024”
第 10 回リンチ症候群研究会・第6回がんゲノム医療時代における Lynch 症候群研究会
合同学術集会・市民公開フォーラム

■日　　程：2024 年 8 月 1 日（木）10:00～18:00

■会　　場：国立がん研究センター　管理棟特別会議室・研究棟大会議室　〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

■開催方法：ハイブリッド形式（現地＋Zoom でのオンライン配信）

■参加費：2,000 円（合同学術集会、現地参加者のみ）

■プログラム：以下の特別講演・教育講演の他、特別企画・ランチョンセミナー・一般演題などを予定。

10:00～16:00　合同学術集会：国立がん研究センター管理棟特別会議室　対象：医療関係者

特別講演：「多遺伝子パネル検査（MGPT）にかかる指針と実地診療における活用（仮）」
岡山大学　臨床遺伝子医療学、平沢　晃先生　　共催：アクトメッド社

教育講演：「ミスマッチ修復機能欠損大腸がんに対する治療開発の現状と将来展望（仮）」
国立がん研究センター東病院　消化管内科、坂東英明先生　　共催：ファルコバイオシステムズ社

16:00～18:00　市民公開フォーラム：国立がん研究センター研究棟大会議室　対象：上記＋患者・一般市民

＊　共催：厚生労働科学研究費補助金　がん対策推進総合研究事業「ゲノム情報に応じたがん予防にかかる指針の策定と遺伝性腫瘍に関する医療・社会体制の整備および国民の理解と参画に関する研究」班（平沢班）

テーマ：～Lynch 症候群当事者の方と一緒につくる医療体制～　　→詳細は別紙

18:30～20:30　情報交換会：会場近辺の予定

■一般演題応募（～6 月 14 日（金））・参加申し込み：→Googe Form にて

一般演題応募：https://forms.gle/N3XVTFpEwoKRzQAx6　参加申し込み：https://forms.gle/amuWgqPCTtKnQBjC8

■問い合わせ先：LS 合同研究会事務局　担当：水島明日加　e-mail address:mizushima-asu@medical-rs.com